



(6) 献血が病気の治療に役立っていることの認知 (Q5)

Q5. 献血は患者さんに対する輸血だけでなく、献血を原料とした血液製剤として、さまざまな病気の治療に役立っていることを知っていますか。

【基数:対象者全員】		(N)	知っている	知らない
全体		(5000)	48.0	52.0
職業別	高校生	(626)	47.4	52.6
	大学生・専門学校生	(1484)	50.5	49.5
	会社員	(1545)	46.3	53.7
	公務員	(85)	48.2	51.8
	自営業	(134)	48.5	51.5
	専業主婦	(423)	48.9	51.1
	その他	(703)	46.5	53.5
	性別	男性	(2556)	48.3
女性		(2444)	47.7	52.3
地域別	北海道	(210)	48.1	51.9
	東北	(355)	47.6	52.4
	関東甲信越	(1825)	46.1	53.9
	東海北陸	(780)	48.8	51.2
	近畿	(816)	49.8	50.2
	中国・四国	(431)	49.7	50.3
	九州・沖縄	(583)	49.6	50.4



(7)若年層の献血協力者の減少傾向認知 (Q6)

<新規質問>

- 近年、『献血』へ協力してくれる10代・20代の若年層が大幅に減少していることを「知っている」という人は37.3%。
- 職業別にみると、公務員の認知率が他層に比べて高い。なお、大学・専門学校生の認知率は40.2%、高校生は33.7%と1/3程度にとどまる。
- 認知率は、男女間で差はなく、地域別でもそれほど違いはみられない。



(7)若年層の献血協力者の減少傾向認知 (Q6)

Q6. 献血へ協力して下さる若い方の数が、近年大幅に減っています(*)。知っていましたか。

*最近5年間で20代の献血者数は161万8千人から113万5千人(30%減)に、10代の献血者数は、56万4千人から32万4千人(43%減)に減少しています。

【基数:対象者全員】		(N)	知っている	知らない
全体		(5000)	37.3	62.7
職業別	高校生	(626)	33.7	66.3
	大学生・専門学校生	(1484)	40.2	59.8
	会社員	(1545)	36.7	63.3
	公務員	(85)	52.9	47.1
	自営業	(134)	36.6	63.4
	専業主婦	(423)	35.7	64.3
	その他	(703)	34.6	65.4
	性別	男性	(2556)	37.0
女性		(2444)	37.5	62.5
地域別	北海道	(210)	39.5	60.5
	東北	(355)	42.8	57.2
	関東甲信越	(1825)	35.5	64.5
	東海北陸	(780)	36.9	63.1
	近畿	(816)	37.9	62.1
	中国・四国	(431)	40.1	59.9
	九州・沖縄	(583)	36.2	63.8



(1) 献血に関する広報接触媒体 (Q7)

- 『献血』に関して接触したことがある広報媒体をみると、最も高いのが「街頭での呼びかけ」で60.6%。以下、「テレビ」(50.4%)、「献血バス」(49.8%)、「献血ルーム前の看板・表示」(48.5%)の順で続き、以上が主要な媒体となっている。
- 職業別にみると、「街頭での呼びかけ」は大学生・専門学校生と専業主婦でやや高い。また専業主婦は「献血バス」「献血ルーム前の看板・表示」も高く、現場での接触が目立つ。一方、高校生は「街頭での呼びかけ」「献血バス」「献血ルーム前の看板・表示」「献血関係のイベント」など、総じて低い。
- 性別では、「街頭での呼びかけ」「献血バス」「献血ルーム前の看板・表示」での接触率が男性に比べて女性が高いのが目立つ。
- 地域別では、「街頭の呼びかけ」は北海道、中国・四国、九州・沖縄でやや低い。「テレビ」は東北で高く、関東甲信越で低い。一方、「献血ルーム前の看板・表示」は東海北陸、中国・四国、九州・沖縄で他地域よりも低い。

- 17年度調査と比較すると、「街頭での呼びかけ」「テレビ」「献血バス」といった主要な広報媒体をはじめ、「ポスターの掲示」「献血関係のイベント」「新聞」など、総じて接触率が低下している。
- 属性別にみても、職業別・性別・地域別のいずれも主要媒体の接触率は、各層でほぼ低下傾向となっている。
- なお、高校生や自営業では、いずれも見たこと(聞いたこと)がないが1割弱まで増加している。

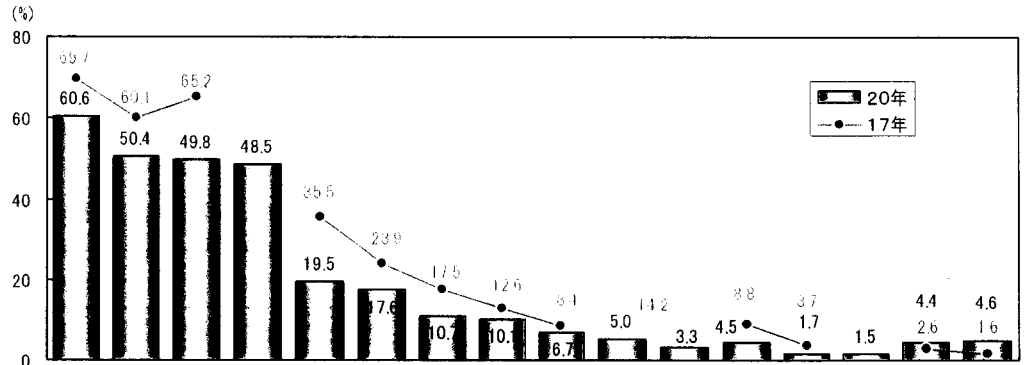
3. 献血の広報・キャンペーンへの認知接触状況

【未経験者編】



(1) 献血に関する広報接触媒体 (Q7)

Q7. 献血に関して、どのような広報媒体を見たこと(聞いたこと)がありますか。(いくつでも)



【基数:対象者全員】

		(N)	Media Contact (%)															
			街頭での呼びかけ	テレビ	献血バス	献血ルーム前の看板・表示	ポスターの掲示	献血関係のイベント	新聞	チラシの配布	インターネット	FM放送	その他のラジオ放送	自治体の広報誌	雑誌等	その他	何かで見たが覚えていない	見たこと(聞いたこと)がない
全体	2020	(5000)	60.6	50.4	49.8	48.5	19.5	17.6	10.7	10.1	6.7	5.0	3.3	4.5	1.7	1.5	4.4	4.6
	17年	(5000)	69.7	60.1	65.2	-	35.5	23.9	17.5	12.6	8.4	14.2	-	8.8	3.7	-	2.6	1.6
職業別	高校生	2020 (398)	42.0	50.2	36.3	36.6	19.2	12.0	12.3	13.4	8.6	4.3	2.7	4.5	1.4	2.6	2.8	2.5
	17年	(398)	56.5	61.1	53.8	-	33.7	21.9	18.6	18.3	12.8	-	13.1	5.8	5.8	-	2.8	2.5
	大学生・専門学校生	2020 (932)	65.8	49.1	53.7	50.5	20.7	19.3	10.0	11.6	7.3	4.5	3.4	2.9	1.9	1.8	3.4	4.5
	17年	(932)	73.0	61.2	69.4	-	39.5	29.2	16.8	17.8	9.8	14.2	-	7.0	3.8	-	2.7	1.9
	会社員	2020 (1596)	63.2	48.0	48.3	51.5	18.7	18.0	10.3	8.6	5.3	5.8	3.0	4.7	1.4	0.8	3.5	4.3
	17年	(1596)	71.6	57.0	65.5	-	34.6	23.4	17.5	10.3	7.4	15.8	-	7.7	3.1	-	2.4	1.7
	公務員	2020 (104)	58.8	45.9	51.8	50.6	18.8	27.1	11.8	14.1	5.9	4.7	2.4	14.1	1.2	-	-	3.5
	17年	(104)	79.8	64.4	65.4	-	43.3	33.7	22.1	17.3	5.8	24.0	-	21.2	6.7	-	3.8	2.9
	自営業	2020 (115)	55.2	48.5	42.5	40.3	16.4	14.9	13.4	8.2	9.0	8.2	3.7	6.7	2.2	0.7	5.2	8.2
	17年	(115)	68.7	66.1	60.0	-	34.8	20.0	18.3	14.8	7.8	16.5	-	18.3	3.5	-	3.5	0.9
専業主婦	2020 (422)	66.9	53.0	61.7	56.5	21.0	20.8	7.8	9.5	3.3	4.0	2.1	4.5	0.9	1.9	3.8	2.4	
17年	(422)	73.6	57.6	68.9	-	34.6	25.0	15.1	9.8	4.0	9.1	-	14.0	2.6	-	1.9	0.6	
その他	2020 (999)	57.8	57.9	50.9	44.8	18.6	15.6	12.7	7.8	8.4	4.7	5.1	6.3	2.7	1.4	5.8	3.3	
17年	(999)	64.6	64.9	62.8	-	34.1	19.3	18.9	10.7	11.1	15.0	-	6.5	4.5	-	3.0	1.8	
性別	男性	2020 (2606)	54.7	49.2	43.4	41.2	18.0	13.8	11.8	9.3	7.4	5.9	4.2	4.5	1.4	1.3	5.4	6.1
	17年	(2606)	62.6	61.4	58.6	-	29.6	20.9	19.3	11.4	11.1	16.6	-	6.6	3.7	-	3.7	2.8
女性	2020 (3312)	66.7	51.6	56.5	56.2	21.0	21.6	9.6	11.0	5.9	4.1	2.4	4.6	2.0	1.7	3.4	3.0	
17年	(3312)	73.3	59.5	68.6	-	38.6	25.5	16.5	13.2	7.0	12.9	-	9.9	3.7	-	2.0	1.1	
地域別	北海道	2020 (210)	46.7	49.5	49.0	49.5	26.2	15.7	12.9	6.7	10.5	4.3	6.2	5.7	1.4	1.4	4.3	5.7
	17年	(210)	60.5	59.0	64.5	-	41.0	15.5	19.5	7.5	12.0	-	15.5	8.0	5.0	-	3.5	3.5
	東北	2020 (350)	58.9	67.3	50.4	50.4	22.8	23.4	16.3	15.8	8.5	10.1	5.4	7.9	3.1	1.4	3.4	1.7
	17年	(350)	64.6	66.6	67.1	-	37.1	25.1	23.7	11.7	6.0	19.1	-	12.9	2.9	-	2.0	2.3
	関東甲信越	2020 (1822)	67.2	41.2	47.9	56.5	17.0	15.5	8.0	8.3	5.8	3.5	2.4	3.5	1.5	1.3	2.6	5.8
	17年	(1822)	76.8	54.1	61.4	-	33.4	19.7	12.8	9.9	7.0	9.7	-	6.2	3.3	-	2.2	1.6
	東海北陸	2020 (750)	56.9	48.2	45.3	39.9	19.7	17.6	12.8	10.9	6.4	5.6	2.2	4.4	2.2	1.9	7.4	5.5
	17年	(750)	65.3	55.5	64.3	-	33.3	28.3	18.3	13.6	7.9	13.7	-	10.9	3.7	-	3.1	3.1
	近畿	2020 (850)	63.7	57.1	56.3	46.1	20.1	15.2	10.0	10.2	5.9	3.9	3.3	4.4	1.2	1.1	4.3	2.3
17年	(850)	69.3	68.1	71.5	-	36.9	23.9	17.3	13.4	10.4	14.1	-	7.1	3.8	-	1.9	0.7	
中国・四国	2020 (450)	49.4	58.7	51.3	42.2	21.1	20.9	13.0	11.1	7.7	4.9	5.3	5.6	1.6	1.9	6.0	3.7	
17年	(450)	64.7	64.0	72.0	-	40.2	30.4	24.4	18.4	9.1	15.3	-	11.1	4.2	-	2.2	1.1	
九州・沖縄	2020 (600)	54.5	56.4	51.6	41.7	20.4	22.5	11.3	11.8	7.9	7.5	4.3	5.1	1.7	1.9	5.8	5.0	
17年	(600)	64.2	66.3	62.8	-	36.3	28.7	21.0	15.8	10.2	23.8	-	12.3	4.5	-	4.3	0.7	

注: 17年は「献血ルーム前の看板・表示」「その他」の回答肢なし。また、「FM放送」「その他のラジオ放送」は17年の回答肢は「ラジオ」のみ。



(2) 献血キャンペーンに効果的だと思う媒体 (Q8)

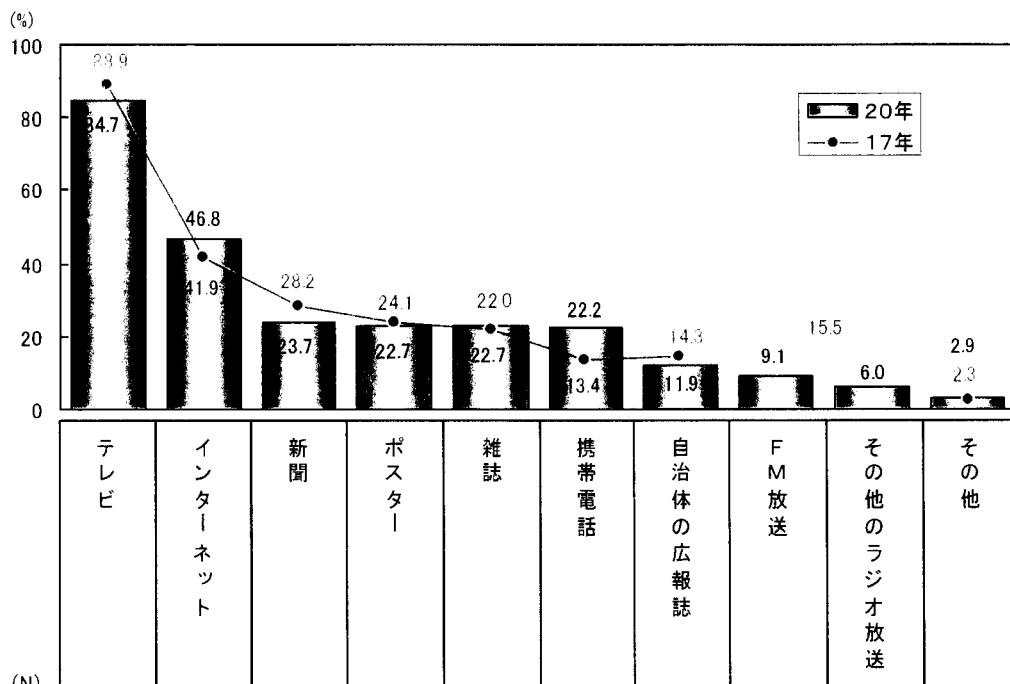
- 『献血』のキャンペーンを行う際に効果的だと思われる媒体をいつでも挙げてもらったところ、「テレビ」が84.7%で圧倒的に高い。次いで「インターネット」が46.8%で続く。以下、「新聞」(23.7%)「ポスター」(22.7%)「雑誌」(22.7%)「携帯電話」(22.2%)等が2割強。
- 職業別にみると、各層とも「テレビ」「インターネット」中心は変わらない。その中で高校生は他層より「インターネット」がやや低く、逆に「携帯電話」がやや高い。専業主婦・公務員で「自治体の広報誌」を挙げる割合がやや高く、専業主婦はその他にも「新聞」「雑誌」が他層よりもやや高い。
- 性別では、男性よりも女性の方が「雑誌」を挙げる割合が高い。
- 地域別では、「新聞」は北海道、中国・四国、「携帯電話」は東北でそれぞれやや高くなっている。

- 17年度調査と比較すると、「インターネット」「携帯電話」を挙げる割合が高まっている。なお、前回の「ラジオ」に関しては、今回「FM放送」「その他のラジオ放送」に回答肢を分割したので参考程度。
- 属性別にみても、職業別・性別・地域別を通して、総じて各層とも「インターネット」「携帯電話」が効果的とする傾向が強まっている。
- それ以外では、「テレビ」は大学生・専門学校生、公務員、自営業で、「新聞」は会社員、公務員、自営業で、「ポスター」「雑誌」については高校生と公務員で、それぞれ前回よりやや低下した。なお、「新聞」は男性でもやや下がった。



(2) 献血キャンペーンに効果的だと思う媒体 (Q8)

Q8. 献血のキャンペーンを行う際の効果的な媒体は何だと思いますか。(いくつでも)



【基数:対象者全員】

		(N)	テレビ	インターネット	新聞	ポスター	雑誌	携帯電話	自治体の広報誌	FM放送	その他のラジオ放送	その他	(%)
全体	20年		84.7	46.8	23.7	22.7	22.7	13.4	11.9	9.1	6.0	2.9	
	17年 (5000)		88.9	41.9	28.2	24.1	22.0	22.2	14.3	15.5	2.9	2.3	
職業別	高校生	20年	86.3	40.9	25.2	22.4	20.6	28.0	9.4	7.8	5.8	2.2	
	17年 (398)		86.9	41.2	30.2	30.7	27.1	22.4	12.6	12.8	1.3	1.3	
	大学生・専門学校生	20年	83.2	46.6	23.9	24.6	24.2	25.4	9.7	8.2	5.6	3.2	
	17年 (932)		88.4	42.3	25.2	26.5	21.7	13.9	12.0	12.7	2.3	2.3	
	会社員	20年	84.1	46.5	20.7	19.5	20.3	10.4	11.5	9.6	6.0	2.4	
	17年 (1596)		87.3	42.0	27.0	21.8	21.4	11.8	12.4	16.9	2.1	2.1	
	公務員	20年	87.1	51.8	21.2	12.9	21.2	18.8	18.8	12.9	8.2	1.2	
	17年 (104)		92.3	39.4	26.9	23.1	28.8	10.6	17.3	21.2	1.0	1.0	
自営業	20年	79.9	44.0	20.9	19.4	19.4	13.4	13.4	9.7	6.7	3.0		
17年 (115)		88.7	47.0	29.6	24.3	16.5	13.0	19.1	21.7	3.5	3.5		
専業主婦	20年	89.1	45.2	30.0	25.5	29.8	17.0	21.5	8.5	4.7	2.1		
17年 (856)		92.6	38.0	30.4	24.1	21.7	9.3	21.5	15.1	1.3	1.3		
その他	20年	85.6	54.2	25.7	26.5	23.0	21.8	12.8	11.0	7.5	4.4		
17年 (999)		89.1	44.6	30.1	22.8	21.6	15.5	12.9	16.3	3.8	3.8		
性別	男性	20年	81.8	47.8	22.7	19.6	17.6	22.8	9.8	9.4	6.3	3.1	
	17年 (1688)		85.8	44.1	27.8	20.4	16.0	15.0	11.0	16.4	2.5	2.5	
女性	20年	87.7	45.8	24.9	26.0	27.9	21.6	14.1	8.9	5.7	2.7		
17年 (3312)		90.5	40.8	28.4	25.9	25.1	12.6	15.9	15.1	2.1	2.1		
地域別	北海道	20年	88.1	47.6	30.5	26.2	26.2	21.9	14.8	7.6	8.6	1.9	
	17年 (200)		88.5	41.5	35.0	26.0	22.0	13.0	13.0	20.0	2.5	2.5	
	東北	20年	85.1	45.9	25.6	22.0	21.1	27.3	16.1	9.9	8.2	3.1	
	17年 (350)		89.7	38.0	27.7	21.7	19.1	10.6	20.0	18.3	3.1	3.1	
	関東甲信越	20年	83.6	46.3	22.4	22.2	23.3	21.9	9.1	8.1	5.5	3.0	
	17年 (1800)		88.2	44.9	25.8	24.6	24.3	14.5	12.9	12.7	2.9	2.9	
	東海北陸	20年	84.6	48.3	24.1	21.2	21.2	19.7	12.3	10.5	5.3	3.5	
	17年 (750)		90.0	41.1	28.0	22.1	21.3	12.9	15.7	16.7	1.2	1.2	
近畿	20年	85.0	47.9	20.7	22.4	21.8	22.3	11.3	7.6	4.7	2.6		
17年 (850)		90.1	40.5	26.2	24.5	20.4	14.2	10.9	14.0	2.1	2.1		
中国・四国	20年	85.2	47.1	29.9	24.4	22.0	21.1	15.8	10.2	8.4	2.3		
17年 (450)		89.1	40.2	34.7	25.3	21.1	11.8	16.7	16.7	0.9	0.9		
九州・沖縄	20年	85.9	45.1	23.5	24.9	24.0	24.0	14.6	11.8	6.7	2.9		
17年 (600)		87.5	39.3	31.5	24.0	20.8	12.3	16.5	21.0	2.5	2.5		

注「FM放送」「その他のラジオ放送」は17年の回答肢は「ラジオ」のみ。



(3) 献血キャラクター「けんけつちゃん」認知 (Q9)

- 献血キャラクターの『けんけつちゃん』の認知率は7.2%。
- 職業別にみると、高校生、大学性・専門学校生の認知率が1割強と他層よりもやや高い。また、男性よりも女性の認知率がやや上回り、地域別では、東北でやや高くなっている。

- 17年度調査と比較すると、認知率は3.0%→7.2%へと4ポイントアップしたが、それでも未だ1割には届かず、浸透度は広がっていない。
- 属性別にみると、今回比較的認知率が高かった、高校生、大学性・専門学校生、および女性において認知率は6～7ポイント程度上昇した。また、東北で最も認知率が高まっている。

3. 献血の広報・キャンペーンへの認知接触状況

【未経験者編】



(3) 献血キャラクター「けんけつちゃん」認知 (Q9)

Q9. 厚生労働省では献血推進のためのキャラクターとして「けんけつちゃん」を作成していますが、知っていますか。

		【基数:対象者全員】		(%)	
		(N)		知っている	知らない
全体				7.2	92.8
	17年	(5000)		3.0	97.0
職業別	高校生			12.0	88.0
		17年	(398)	5.0	95.0
	大学生・専門学校生			10.6	89.4
		17年	(932)	3.5	96.5
	会社員			4.6	95.4
		17年	(1596)	2.5	97.5
	公務員			7.1	92.9
		17年	(104)	6.7	93.3
	自営業			3.7	96.3
		17年	(115)	0.4	99.1
専業主婦			3.5	96.5	
	17年	(856)	3.0	97.0	
その他			4.4	95.6	
	17年	(999)	2.1	97.9	
性別	男性			4.8	95.2
		17年	(1688)	2.7	97.6
	女性			9.7	90.3
17年		(3312)	3.3	96.7	
地域別	北海道			3.3	96.7
		17年	(200)	0.5	99.5
	東北			12.7	87.3
		17年	(350)	4.0	96.0
	関東甲信越			7.8	92.2
		17年	(1800)	3.2	96.8
	東海北陸			7.9	92.1
		17年	(750)	2.8	97.2
	近畿			5.6	94.4
17年		(850)	2.1	97.9	
中国・四国			6.0	94.0	
	17年	(450)	3.3	96.7	
九州・沖縄			5.7	94.3	
	17年	(600)	3.5	96.5	



(4) 献血キャンペーン認知 (Q10)

- 献血キャンペーンのことを「知っている」と回答した人は14.7%。
- 職業別にみると、他層に比べて公務員の認知率がやや高い。また、男性に比べて女性の認知率がやや高い。地域別では、東北でやや高くなっている。

- 17年度調査と比較すると、認知率は25.9%→14.7%へと、11ポイント低下している。
- 属性別にみても、各層とも認知率は低下傾向となっている。特に、公務員で落ち込みが目立つ。また、地域別では、近畿、九州・沖縄で認知率の低下が目立つ。

3. 献血の広報・キャンペーンへの認知接触状況

【未経験者編】



(4) 献血キャンペーン認知 (Q10)

Q10. 献血に関するキャンペーンを知っていますか。
 (毎年7月:愛の血液助け合い運動 毎年1~2月:「はたちの献血」キャンペーン)

		【基数:対象者全員】		(%)	
		(N)		知っている	知らない
全体	2016年		14.7	85.3	
	17年 (5000)		25.9	74.1	
高校生	2016年		12.9	87.1	
	17年 (398)		18.3	81.7	
大学生・専門学校生	2016年		15.1	84.9	
	17年 (932)		25.5	74.5	
会社員	2016年		14.4	85.6	
	17年 (1596)		26.1	73.9	
公務員	2016年		20.0	80.0	
	17年 (104)		38.5	61.5	
自営業	2016年		15.7	84.3	
	17年 (115)		23.5	76.5	
専業主婦	2016年		14.2	85.8	
	17年 (856)		27.1	72.9	
その他	2016年		15.4	84.6	
	17年 (999)		27.1	72.9	
性別	男性	2016年	11.6	88.4	
	17年 (1688)		19.4	80.6	
女性	2016年		17.8	82.2	
	17年 (3312)		29.3	70.7	
地域別	北海道	2016年	12.9	87.1	
	17年 (200)		23.5	76.5	
東北	2016年		20.3	79.7	
	17年 (350)		32.3	67.7	
関東甲信越	2016年		13.4	86.6	
	17年 (1800)		21.2	78.8	
東海北陸	2016年		12.6	87.4	
	17年 (750)		21.5	78.5	
近畿	2016年		15.4	84.6	
	17年 (850)		31.1	68.9	
中国・四国	2016年		16.0	84.0	
	17年 (450)		30.7	69.3	
九州・沖縄	2016年		16.5	83.5	
	17年 (600)		32.0	68.0	



(5) 「HOP STEP JUMP」を配布された記憶 (Q11)

- 高校3年生を対象に、『HOP STEP JUMP』という普及啓発資材が配布されていることを認知している人は9.6%と1割程度。授業で使用した経験がある人は2.2%にとどまる。
- 職業別にみると、(現役)高校生や大学生・専門学校生といった、より若い世代の認知率がやや高い。それでも認知率は10%台にとどまる。

- 17年度調査と比較すると、認知率は7.1%→9.6%へと、若干上昇している。
- 職業別にみると、大きな動きはないが、会社員、自営業以外は、いずれも認知率がやや上昇。性別・地域別でも、各層とも認知率が若干高まる。

3. 献血の広報・キャンペーンへの認知接触状況

【未経験者編】



(5) 「HOP STEP JUMP」を配布された記憶 (Q11)

Q11. 平成2年から全国の高校3年生を対象に、献血に関する普及啓発資材「HOP STEP JUMP」を配布していますが、学校で配られた記憶はありますか。

【基数:対象者全員】		(N)	保健体育の授業で 使用した				他の授業で使用した				配布されただけ				知らない				認知 (計)
全体			7.4	90.4												9.6			
	17年	(5000)	5.8	92.9												7.1			
高校生			15.0	81.6												18.4			
	17年	(398)	13.6	84.7												15.3			
大学生・専門学校生			10.3	86.2												13.8			
	17年	(932)	9.2	88.5												11.5			
会社員			3.9	95.1												4.9			
	17年	(1596)	4.4	94.5												5.5			
公務員			5.9	91.8												8.2			
	17年	(104)	3.8	96.2												3.8			
自営業			5.2	93.3												6.7			
	17年	(115)	5.2	92.2												7.8			
専業主婦			5.4	93.6												6.4			
	17年	(856)	4.4	94.9												5.1			
その他			4.3	94.5												5.5			
	17年	(999)	3.2	95.8												4.2			
性別	男性		7.1	91.1												8.9			
	17年	(1688)	6.1	92.6												7.4			
女性			7.8	89.7												10.3			
	17年	(3312)	5.7	93.1												6.9			
地域別	北海道		8.1	90.0												10.0			
	17年	(200)	6.5	93.0												7.0			
東北			10.7	87.6												12.4			
	17年	(350)	6.0	92.0												8.0			
関東甲信越			6.2	91.5												8.5			
	17年	(1800)	5.4	93.2												6.8			
東海北陸			9.2	88.6												11.4			
	17年	(750)	6.9	91.6												8.4			
近畿			5.6	92.5												7.5			
	17年	(850)	5.9	93.2												6.8			
中国・四国			8.8	89.1												10.9			
	17年	(450)	6.4	93.6												6.4			
九州・沖縄			8.2	89.7												10.3			
	17年	(600)	4.8	93.3												6.7			



(1) 献血では感染症に感染しないことの認知 (Q12)

- 『献血』でエイズ、肝炎といった感染症に感染しないことを認知している人は59.1%。
- 属性別による違いはあまりみられない。その中で、専業主婦の認知率が最も高く、また男性よりも女性の認知率が上回っている。

- 17年度調査と比較すると、認知率は60.9%→59.1%へと、ほぼ横ばい。
- 職業別にみると、公務員、自営業の認知率が低下している。特に、公務員の落ち込みが顕著。地域別では、北海道でやや低下している。



(1) 献血では感染症に感染しないことの認知 (Q12)

Q12. 献血でエイズ、肝炎その他の感染症に感染することはありませんが、そのことを知っていますか。

		【基数:対象者全員】		(N)		知っている		知らない	
						知っている		知らない	
						知っている		知らない	
全体						59.1		40.9	
	17年		(5000)			60.9		39.1	
職業別	高校生					60.5		39.5	
		17年		(398)			56.8		43.2
職業別	大学生・専門学校生					60.9		39.1	
		17年		(932)			65.0		35.0
職業別	会社員					58.5		41.5	
		17年		(1596)			60.8		39.2
職業別	公務員					60.0		40.0	
		17年		(104)			81.7		18.3
職業別	自営業					54.5		45.5	
		17年		(115)			63.5		36.5
職業別	専業主婦					64.1		35.9	
		17年		(856)			60.5		39.5
職業別	その他					53.1		46.9	
		17年		(999)			56.7		43.3
性別	男性					56.3		43.7	
		17年		(1688)			59.7		40.3
性別	女性					62.0		38.0	
		17年		(3312)			61.5		38.5
地域別	北海道					55.7		44.3	
		17年		(200)			61.5		38.5
地域別	東北					61.7		38.3	
		17年		(350)			58.9		41.1
地域別	関東甲信越					58.2		41.8	
		17年		(1800)			58.9		41.1
地域別	東海北陸					59.2		40.8	
		17年		(750)			63.1		36.9
地域別	近畿					58.7		41.3	
		17年		(850)			62.7		37.3
地域別	中国・四国					61.9		38.1	
		17年		(450)			62.4		37.6
地域別	九州・沖縄					59.7		40.3	
		17年		(600)			61.2		38.8



(2) 血液製剤の海外血液依存の認知 (Q13)

- 《血液製剤は未だ海外の血液に依存している》ということを認知している人は14.5%。
- 職業別にみると、公務員の認知率が他層に比べてやや高い。
また、性別・地域別による差はあまりみられない。

- 17年度調査と比較すると、認知率は22.6%→14.5%へ、8ポイント低下した。
- 職業別では、各層ともほぼ10ポイント前後の低下となっている。また、地域別では九州・沖縄で最も低下している。



(2) 血液製剤の海外血液依存の認知 (Q13)

Q13. 血液製剤(*)は未だ海外の血液に依存していることを知っていますか。

*重症熱傷に用いるアルブミン製剤では、国内自給率は未だ60%台である。

		【基数:対象者全員】		(%)	
		(N)		知っている	知らない
全体				14.5	85.5
	17年	(5000)		22.6	77.4
高校生				13.9	86.1
	17年	(398)		24.4	75.6
大学生・専門学校生				16.4	83.6
	17年	(932)		25.6	74.4
会社員				13.5	86.5
	17年	(1596)		23.6	76.4
公務員				21.2	78.8
	17年	(104)		32.7	67.3
自営業				17.9	82.1
	17年	(115)		29.6	70.4
専業主婦				10.6	89.4
	17年	(856)		19.2	80.8
その他				14.2	85.8
	17年	(999)		18.7	81.3
性別	男性			14.3	85.7
	17年	(1688)		24.8	75.2
女性				14.8	85.2
	17年	(3312)		21.5	78.5
地域別	北海道			17.1	82.9
	17年	(200)		22.5	77.5
東北				18.0	82.0
	17年	(350)		23.1	76.9
関東甲信越				13.3	86.7
	17年	(1800)		18.7	81.3
東海北陸				15.4	84.6
	17年	(750)		25.1	74.9
近畿				13.7	86.3
	17年	(850)		25.3	74.7
中国・四国				17.2	82.8
	17年	(450)		23.3	76.7
九州・沖縄				13.6	86.4
	17年	(600)		26.8	73.2



(1) 1位＜最も大きな理由＞ (Q15)

- 『献血』をしたことがない理由を大きい順に3つまで選んでもらった。
1位に挙げた理由をみると、「針を刺すのが痛くて嫌だから」がトップで15.3%。
以下、「健康上出来ないと思ったから」(8.5%)、「なんとなく不安だから」(8.2%)、「近くに献血する場所や機会がなかったから」(7.8%)、「献血を申し込んだが、基準に適合せずに断られた」(7.7%)などが1割弱で続き、以上がベスト5。
- 職業別にみると、専業主婦で「献血を申し込んだが、基準に適合せずに断られた」が他層よりやや高い。一方、高校生は「健康上出来ないと思ったから」、公務員は「近くに献血する場所や機会がなかったから」、自営業は「針を刺すのが痛くて嫌だから」が他層よりやや低い。
- 地域別では、北海道で「献血する意志がない」とする割合が他地域に比べてやや高い。

- 17年度調査と比較すると、全体では「献血を申し込んだが、基準に適合せずに断られた」「健康上出来ないと思ったから」を理由に挙げる割合が若干減少している。
- 職業別では、「献血を申し込んだが、基準に適合せずに断られた」は高校生、自営業で前回よりやや低下。一方、公務員で「針を刺すのが痛くて嫌だから」が低下している。
- 地域別では、北海道で「針を刺すのが痛くて嫌だから」「献血する意志がない」が高まっている。

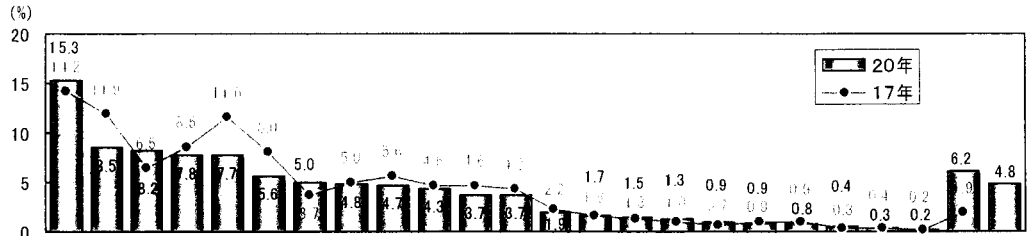
5. 献血をしたことがない理由

【未経験者編】



(1) 1位<最も大きな理由> (Q15)

Q15. 献血したことがないのはどのような理由からですか。
理由の大きい順に3つまでお選びください。(それぞれひとつずつ)



【基数:対象者全員】

		(N)	15.3	8.5	8.2	7.8	7.7	5.6	5.0	4.8	4.7	4.3	3.7	3.7	1.9	1.7	1.5	1.3	0.9	0.9	0.8	0.4	0.3	0.2	6.2	4.8
全体	20年	(5000)	14.2	11.9	6.5	8.5	11.6	8.0	3.7	5.0	5.6	4.6	4.6	4.3	2.2	1.6	1.3	1.0	0.7	0.9	0.9	0.3	0.4	0.2	1.9	4.8
	17年	(398)	15.2	2.4	8.8	12.5	3.4	6.2	5.8	5.9	3.8	3.2	4.2	1.3	3.4	1.9	0.8	1.6	0.5	0.6	0.5	0.8	0.2	0.5	5.4	11.2
高校生	20年	(932)	17.0	9.3	8.5	7.0	8.0	9.1	3.1	5.5	5.6	6.0	7.0	4.2	1.4	1.2	1.1	0.8	0.3	1.4	0.6	0.3	0.6	0.2	1.8	3.4
	17年	(1596)	15.3	8.6	8.0	6.5	9.2	5.0	5.1	4.2	4.9	4.7	3.5	3.4	1.7	1.9	1.6	1.0	1.3	1.2	1.2	0.2	0.3	0.2	6.7	4.5
会社員	20年	(104)	15.3	9.4	10.6	2.4	9.4	5.9	1.2	3.5	5.9	2.4	5.9	1.2	-	1.2	1.2	3.5	1.2	2.4	-	1.2	2.4	-	9.4	4.7
	17年	(115)	7.5	11.9	5.2	13.4	8.2	3.7	6.0	3.0	2.2	5.2	3.0	5.2	2.2	1.5	3.7	1.5	0.7	1.5	0.7	-	-	-	7.5	6.0
公務員	20年	(856)	13.7	11.8	6.4	5.9	15.4	4.3	3.1	5.4	3.3	1.9	4.0	6.1	0.9	0.5	0.9	0.9	0.2	-	0.2	0.9	-	0.2	10.2	3.5
	17年	(999)	15.6	12.1	7.3	8.4	6.0	5.3	5.5	5.4	3.8	2.6	2.6	5.8	2.6	1.4	1.6	1.6	0.6	0.3	0.7	0.4	0.3	0.1	7.1	3.0
専業主婦	20年	(1688)	13.9	6.3	8.1	9.0	3.6	5.8	7.2	4.1	6.0	5.4	4.5	2.5	2.6	2.2	1.7	1.7	1.3	1.0	0.8	0.2	0.2	0.3	5.4	6.4
	17年	(3312)	16.7	10.8	8.2	6.5	12.1	5.4	2.7	5.5	3.3	3.2	2.9	5.0	1.1	1.1	1.3	1.0	0.6	0.7	0.7	0.7	0.3	0.1	7.0	3.1
その他	20年	(200)	11.0	11.0	5.6	11.3	10.1	7.9	5.6	3.9	3.7	4.2	2.8	4.2	2.3	0.8	1.7	1.1	0.6	0.6	0.3	0.8	-	-	7.0	3.4
	17年	(1800)	15.4	8.5	8.6	6.0	7.3	5.5	4.9	5.5	4.9	5.6	3.3	3.7	1.5	1.3	2.0	1.4	1.2	1.1	0.5	0.4	0.2	0.1	6.2	4.8
北海道	20年	(750)	14.6	9.6	9.6	7.7	6.8	4.9	5.3	4.5	3.8	4.1	4.5	2.9	2.3	2.7	0.4	0.8	0.8	1.0	1.3	0.4	0.4	0.1	6.5	5.0
	17年	(850)	16.5	6.9	8.8	9.4	6.6	7.0	4.3	4.9	5.3	3.9	3.8	4.4	1.5	1.3	1.3	2.0	0.9	0.6	0.7	0.5	0.1	0.4	5.3	3.6
東北	20年	(450)	16.0	10.2	6.5	8.8	6.7	3.0	3.7	3.5	5.8	2.6	4.2	3.9	2.8	2.1	1.2	1.4	0.7	1.2	1.6	0.2	0.7	0.7	6.7	5.8
	17年	(600)	14.8	6.7	8.1	8.4	11.3	5.5	4.6	4.1	4.6	3.1	3.8	2.9	2.2	2.1	1.5	1.5	0.9	0.5	0.5	0.2	0.5	0.2	6.0	6.0
関東甲信越	20年	(200)	18.6	7.6	4.8	7.1	7.1	5.2	10.5	4.8	2.9	2.9	3.8	4.3	1.9	1.9	1.4	-	0.5	0.5	1.0	0.5	0.5	-	6.7	5.7
	17年	(350)	11.0	11.0	5.6	11.3	10.1	7.9	5.6	3.9	3.7	4.2	2.8	4.2	2.3	0.8	1.7	1.1	0.6	0.6	0.3	0.8	-	-	7.0	3.4
東海北陸	20年	(1800)	14.9	12.3	8.2	7.1	9.9	7.7	3.3	4.4	6.7	4.7	4.5	4.6	1.7	0.6	1.8	1.0	0.9	1.1	1.2	0.2	0.6	0.2	2.4	4.8
	17年	(750)	14.6	9.6	9.6	7.7	6.8	4.9	5.3	4.5	3.8	4.1	4.5	2.9	2.3	2.7	0.4	0.8	0.8	1.0	1.3	0.4	0.4	0.1	6.5	5.0
近畿	20年	(450)	14.2	14.9	4.4	9.6	10.4	7.1	4.0	6.7	4.2	6.0	2.9	5.8	0.7	2.7	0.4	1.3	0.4	1.1	1.1	0.4	0.4	-	1.1	6.0
	17年	(600)	14.8	6.7	8.1	8.4	11.3	5.5	4.6	4.1	4.6	3.1	3.8	2.9	2.2	2.1	1.5	1.5	0.9	0.5	0.5	0.2	0.5	0.2	6.0	6.0
中国・四国	20年	(200)	16.3	9.7	4.0	9.7	20.0	6.3	3.8	5.0	5.2	2.3	4.0	3.2	3.2	2.3	1.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.2	0.2	0.5	0.7	6.0
	17年	(600)	16.3	9.7	4.0	9.7	20.0	6.3	3.8	5.0	5.2	2.3	4.0	3.2	3.2	2.3	1.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.2	0.2	0.5	0.7	6.0

注: 17年は「その他」の回答数なし。